

2024年度 清和幼稚園 評価シート 【集計結果】 職員

◆教育目標をどのようにとらえましたか

- 職員も子どもたちも保護者も、みんながそれぞれの考えや成長のペースや都市は違うけれど、みんなで手を取り合うように支え合い、みんなのつながりを大切に進んでいく！というように捉えました。みんなの力が繋がりとすごいパワーになるのではと思いました。
- 園児同士のつながり、園児とのつながり、職員とのつながり、神さまとのつながりとして捉えた。
- 5月から復帰のため、正直よくわかっていません。ごめんなさい。
- 相手の気持ちを汲み取るというところが、すごくいいなと思いました。

◆教育目標を実現するためにどのような取り組みをしましたか

個別

- いろいろな先生方の話や考え、意見を聞いたりしながら保育を行う！を意識していました。十分ではないですが、みんなで協力、助け合いなどをしながらみんなで保育、見守りができていたように思います。
- 挨拶や労いの言葉(感謝)を伝えるようにしている(子どもたちには言葉がけも…)。つながりに問題を感じる場合は、一定の距離感を保ち、柔軟に対応するように心がけた。
- どのような姿も一旦受け止める、“自分”を安心して出せるような雰囲気づくりや関わりを心がけ、また出せた時に安心や自信、自立につながるような声掛けや関わりを大切にしてきました。
- 保育者自信が教育目標の見本となるような行動をしてきました。

クラス

- 1人ひとりのペース・個性を大切に保育を行ってきました。これも十分ではないですが、1人ひとりの声にできる限りに耳を傾け、クラスの中でもみんなで考えたりする機会を設けたり、“みんなちがってみんないい！”、いろんな考えがある！（なるべく肯定的に…）、みんなの考えや力が合わさるとすごい！と感じられるように…を意識してきました。
- それぞれが自分を安心して出せて、友だちと心を通わせ楽しんでいる瞬間が見られたら、その関係を維持できるような保育内容(グループ替えだったり、好きな遊びの種類を増やすだったり…)にし、自分らしくいられるのが楽しい、うれしいが“当たり前”であるようなクラスづくりを心がけました。
- 見本となりながら子どもたちに伝えていき、子どもの意見も捉えていくようにしていました。話を聞いたり最初は最初にしておくと、子どもたちもまねしやすくなるかなと思いました。

◆以下は評価の表示に従って該当箇所に○印をつけてください。

評価の表示

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が不十分である
D	取り組みが不十分である

		A	B	C	D	
保育の計画	園の教育理念や教育方針を理解している	2	2	0	0	A
	園の教育課程と幼稚園教育要領を踏まえて保育計画を立てている	0	3	0	1	B
	園の行事等では幼児の成長や発達に合わせて参加の仕方を考慮している	1	3	0	0	B
	社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら教育を行っている	0	2	2	0	B
	指導計画を定期的に振り返り、自己反省や課題を見つけ、改善するように努めている	1	2	1	0	B
教職員体制の充実	園の教育理念や教育方針を理解するための学びを行っている	1	0	2	0	C
	指導計画に基づき、幼児の実態に即した教育が行えているかを話し合う関係性ができている	3	1	0	0	A
	個々の幼児について教職員で話し合う場を定期的にかつ必要に応じてもつことができている	2	2	0	0	A
	教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かすことができている	2	2	0	0	A
教育環境の構成	幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている	2	2	0	0	A
	幼児がそれぞれに興味や関心、能力に応じて、全身を使って活動することができる環境を整えている	1	2	1	0	B
	幼児を温かく受け入れる環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしている	2	2	0	0	A
	幼児がさまざまな活動や体験をするのに適切な環境を整えている	0	4	0	0	B
	幼児が言葉で伝えたいような体験を持つことができる環境を整え、伝え合う喜びを味わったり、言葉に対する感覚が養われたりするように配慮している	2	1	1	0	A
	幼児が生活の中で美しいものや、心を動かす出来事に触れられるような環境を工夫している	0	3	1	0	B
	幼児がさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている	0	4	0	0	B
研修や研究	園内研修で学んだことを保育の中に活用できている	0	4	0	1	B
	幼稚園の一員として教育内容の質の向上や改善のために自ら関わろうとしている	1	3	0	0	B
	公的な機関などが開催する研究会に積極的に参加している	0	1	3	0	C
	自分の課題を把握し、その課題を達成できるように努めている	1	2	1	0	B
	自園が掲げるテーマや重点項目等を達成するために研究を行っている	2	1	0	0	A
専門家としての能力	幼児の性格や個性、発達を把握し、一人ひとりに合わせた関わりを行うようにしている	3	1	0	0	A
	自分のクラスだけではなく、他のクラスの子どもについても把握するように努めている	1	3	0	0	B
	保護者に対して幼児のことや保育のことを分かりやすく丁寧に伝えるように努めている	1	3	0	0	B
	子育てに関する保護者の相談相手となり、適切なアドバイスやヒヤリングを行っている	0	1	3	0	C
	個人情報の扱いに注意を払い、職務上知り得た情報などの秘密を守っている	2	2	0	0	A
	善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培うため、子どものよきモデルとしての姿を心がけている	2	2	0	0	A
	クラスや子どもの様子、保育のポイントなどを様々な媒体を用いて発信している	0	4	0	0	B
遊具・教材に関する専門性	園の遊具や教材について、特徴や基本的な使い方を知っている	2	2	0	0	A
	園の遊具や教材について、危険を予測できる	0	3	1	0	B
	園の構造、保育室の教育的意味を持つか理解している	1	2	1	0	B

今日の課題 の理解	子どものアレルギー、自立の遅れなどに関心がある	1	3	0	0	B
保護者 対応	一人一人の子どもについて家庭の養育方針などを把握している	0	3	1	0	A
	クラスだより、掲示板などでクラスの様子を分かりやすく伝えている	1	2	1	0	B
	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接している	0	3	1	0	B
	保護者からの依頼や伝言等にきちんと対応している	1	3	0	0	B
	新たに知り得たことについては、園長に報告している	2	2	0	0	A
	保護者に対して、明るく丁寧に挨拶をし、言葉かけができています	3	1	0	0	A